

令和 2 年度
大阪市子どもの貧困対策推進計画
評価書

令和 3 年 8 月

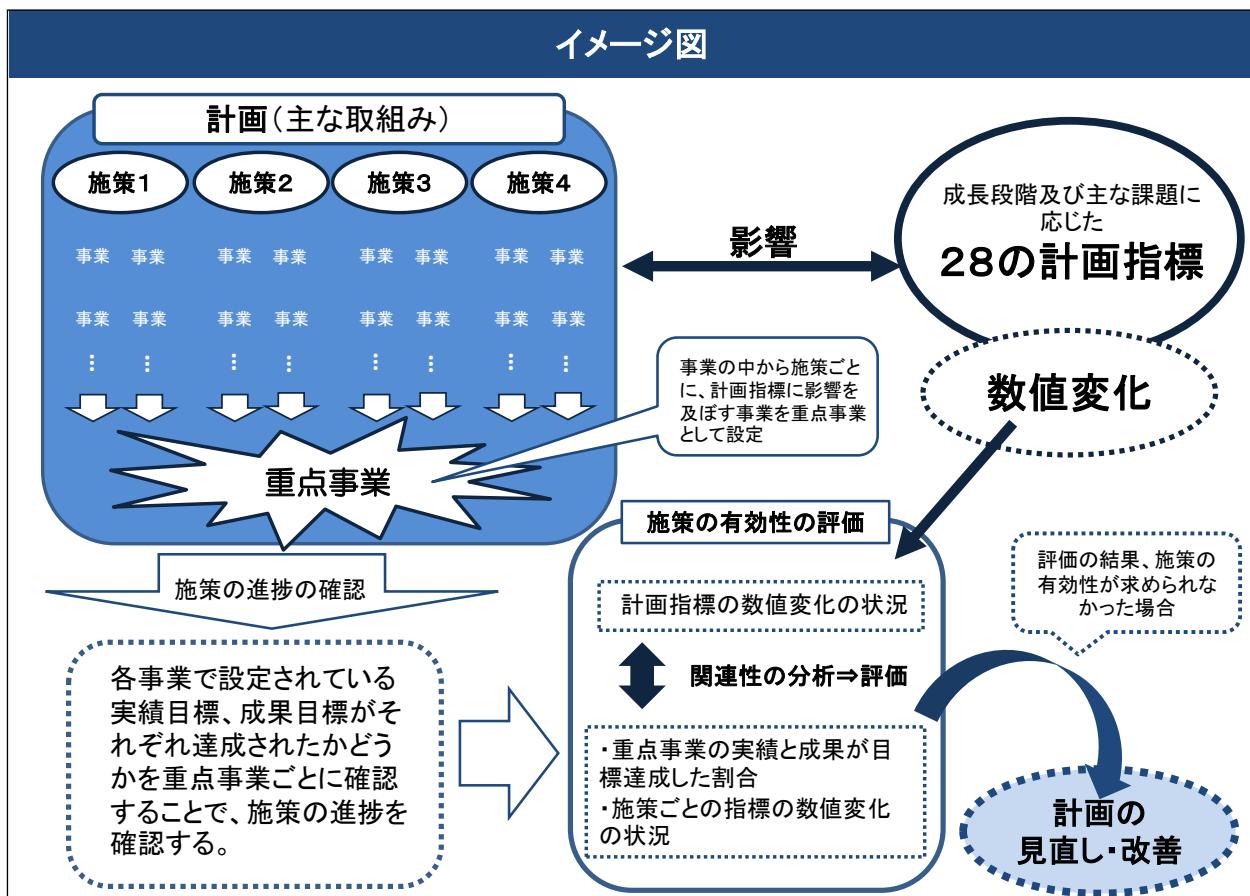
計画の評価

1 進捗管理について（基本的な考え方）

大阪市子どもの貧困対策推進計画は4つの施策に基づき事業・取組みを分類し、計画の進捗状況を把握するため、28の計画指標を設定し、その計画指標に大きく影響を及ぼす事業を重点事業として位置づけている。

重点事業の進捗については、各年度にそれぞれの重点事業で設定された目標の達成度により把握し、その達成度により、施策ごとに設定した指標がどう変化したかを見ることで施策の進捗を確認する。

施策の有効性の評価のため、計画指標の数値変化と重点事業の目標達成割合並びに施策ごとの指標の数値変化の関連性を分析していく。



2 施策体系



3 計画指標の推移

基準値：計画策定時に現状値とした値（但し、番号3及び番号27の事業は計画策定時の数値がないためH30の値を基準値とする）
 推移欄の記号：○…基準値より好転（11項目） △…基準値と同値（2項目） ×…基準値より悪化（12項目） −…比較不可（3項目）

区分	番号	指 標	基 準 値 〔単位：% 年度〕	直 近 値 〔単位：% 年度〕	望 ま し い 方 向	増 減 〔単位：ポ イント〕	推 移
妊娠期	1	妊娠11週以内の妊娠届出率	93.9 H28	95.7 R2	+	1.8	○
乳幼児期	2	3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の平均受診率	95.3 H28	92.1 R2	+	-3.2	×
	3	就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合	93.2 H30	92.2 R2	+	-1.0	×
小学生	4	「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合	72.9 H29	73 R3	+	0.1	○
	5	普段、学校の授業以外でまったく勉強しない児童の割合	7.5 H29	8.9 R3	-	1.4	×
	6	不登校の割合	0.66 H28	0.9 R1	-	0.2	×
	7	朝食を毎日食べている児童の割合	82.5 H29	81.9 R3	+	-0.6	×
	8	「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」に対して肯定的に回答する児童の割合	36.2 H29	35.2 H30	+	—	—
中学生	9	「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合	65.6 H29	72.5 R3	+	6.9	○
	10	「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合	66.2 H29	65 R3	+	-1.2	×
	11	普段、学校の授業以外でまったく勉強しない生徒の割合	11.4 H29	7 R3	-	-4.4	○
	12	不登校の割合	4.93 H28	6.11 R1	-	1.2	×
	13	朝食を毎日食べている生徒の割合	77.5 H29	74.9 R3	+	-2.6	×
	14	生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学率	95.13 H29	96.28 R2	+	1.2	○
	15	生活保護世帯に属する子どもの就職率(中学校卒業後)	0.64 H29	0.6 R2	+	0	△
	16	児童養護施設の子どもの高等学校等進学率	93.75 H28	100 R2	+	6.3	○
	17	児童養護施設の子どもの就職率(中学校卒業後)	0 H28	0 R2	+	0	△
	18	「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合	19.4 H29	21.4 H30	+	—	—
高校生	19	生活保護世帯に属する子どもの大学等進学率	42.32 H29	46.45 R2	+	4.1	○
	20	生活保護世帯に属する子どもの就職率(高等学校等卒業後)	40.27 H29	40.33 R2	+	0.1	○
	21	生活保護世帯に属する子どもの高等学校等中退率	3.84 H29	5.07 R2	-	1.2	×
	22	児童養護施設の子どもの進学率(高等学校卒業後)	27.9 H28	36.36 R2	+	8.5	○
	23	児童養護施設の子どもの就職率(高等学校卒業後)	60.46 H28	63.64 R2	+	3.2	○
ひとり親	24	ひとり親家庭等就業・自立支援センターで求職登録した方及び生活保護受給者等就労自立促進事業で支援した方の就職率	52.8 H28	39.44 R2	+	-13.4	×
	25	養育費の確保支援事業による離婚・養育費に関する専門相談の満足度	98 H28	96.04 R2	+	-2.0	×
社会全体	26	子どもの貧困問題について関心がある市民の割合	66.6 H28	29.4 R2	+	—	—
	27	大阪市こどもサポートネットで支援につないだ割合	70.2 H30	53.1 R2	+	-17.1	×
	28	里親委託率	14.6 H28	19.3 R2	+	4.7	○

※1 全国学力・学習状況調査 ※2 生活指導に関する調査（大阪市調査） ※3 厚生労働省社会・援護局保護課調べ 大阪市報告分 ※4 H28厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課調べ 大阪市報告分、R1本市調べ（各児童養護施設への照会） ※5 H28市政モニター調査「子どもの貧困対策について」、R2民間ネット調査「子どもの貧困対策について」
 ※6 R1より全国学力・学習状況調査の調査項目でなくなり、数値更新できないもの

重点事業一覧

施策1 こどもや青少年の学びの支援の充実		
(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標を持っている割合 ・学習習慣の定着（授業以外の勉強時間、予習・復習） ・学習理解度 	
No.	重 点 事 業	関連する計画指標（番号）
1	就学前教育カリキュラムの普及・啓発	3
2	学校力 UP ベース事業(習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実)	5・11
3	学校力 UP 支援事業	4・5・9・11
4	学びサポーターの配置	5・11
5	塾代助成事業	9・10・11・14・15
6	学校における読書環境の充実・学校図書館の活用推進	5・11
7	子ども自立アシスト事業	14・15
8	スクールカウンセラーの活用	4・5・6・9・10・11・12・ 14・15・19・20・21
9	スクールソーシャルワーカーの活用	6・12
10	高等学校中途退学防止に向けた体制の充実	21
11	不登校等こどもにかかる相談体制の充実	6・12・21
12	進路選択支援事業	14・16・19・22
13	不登校児童通所事業	6・12
14	キャリア教育推進事業	10

施策2 家庭生活の支援の充実		
(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・起床・就寝時間の規則性 ・家庭教育に関する講演会等での参加者の満足度割合 	
No.	重 点 事 業	関連する計画指標（番号）
15	ひとり親家庭等に対する相談・情報提供機能の充実	24
16	家庭教育充実促進事業	3・7・13
17	保育所等における食育の推進	3
18	学校における食育の推進	7・13
19	妊娠婦健康診査	1
20	養育支援訪問事業(専門的家庭訪問支援事業)	2
21	3ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児健康診査	2
22	健全母性育成事業	1・9
23	小・中学校、市立高校における「性・生教育」の推進	1・4・9・10
24	里親委託推進	28
25	小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)	28

施策3 つながり・見守りの仕組みの充実

- (指標)
 - ・こどもサポートネットにより総合的な支援に役立ったとする学校の割合
 - ・子どもの居場所数
 - ・今住んでいる地域の行事に参加している割合

No.	重 点 事 業	関連する計画指標（番号）
26	子ども会活動の推進	8
27	青少年指導員・青少年福祉委員制度の推進	8・18
28	「小学校区教育協議会ーはぐくみネットー」事業	8
29	学校元気アップ地域本部事業	11・18
30	高校中退者への支援策	21
31	児童虐待防止啓発事業	-
32	こどもを守る地域ネットワーク機能強化	-
33	大阪市こどもサポートネットの構築	27
34	こども支援ネットワーク事業	26・27

施策4 生活基盤の確立支援の充実

- (指標)
 - ・「離婚・養育費」に関する専門相談の利用者が相談に満足した割合
 - ・児童養護施設・生活保護世帯のこどもの進学及び就職率

No.	重 点 事 業	関連する計画指標（番号）
35	ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業	24
36	ひとり親家庭自立支援給付金事業	24
37	ひとり親家庭専門学校等受験対策事業	24
38	施設退所児童等社会生活・就労支援事業	16・17・22・23
39	施設退所児童自立生活支援事業	-
40	母子生活支援施設退所児童支援ネットワーク事業	5・7・13
41	若年ひとり親の新たな家庭生活サポート事業	-
42	養育費の確保支援事業	25
43	社会的養護継続支援事業	16・17・22・23
44	就学者自立支援事業	16・17・22・23

※重点事業は、計画の「主な取組み」の中から、3ページにある計画指標に大きく影響を及ぼす事業を設定。

令和2年度

重点事業：主な取組み 224 事業のうち 44 事業

子どもの貧困対策推進計画重点事業の進捗状況

施策1　子どもや青少年の学びの支援の充実

(1) 施策指標の状況

●将来の夢や目標を持っている割合

小学生 80.5% → 78.0%

中学生 66.1% → 65.0%

※H31.4 及び R3.5 実施「全国学力・学習状況調査」結果より

➢ 小学生・中学生ともに、割合が減少している。

●学習習慣の定着（授業以外の勉強時間、予習・復習）

・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

小学生 1 時間以上 : 54.7% → 52.6%

30 分以上 1 時間未満 : 24.2% → 23.6%

30 分未満 : 14.1% → 14.8%

全くしない : 6.9% → 8.9%

中学生 1 時間以上 : 66.0% → 71.1%

30 分以上 1 時間未満 : 13.7% → 12.7%

30 分未満 : 11.1% → 8.9%

全くしない : 9.1% → 7.0%

※H31.4 及び R3.5 実施「全国学力・学習状況調査」結果より

➢ 小学生は 30 分以上の割合が減少し、30 分未満の割合が増加しており、全体的に勉強時間が少なくなっている。それに対し、中学生は、1 時間未満の割合が減少し、1 時間以上の割合が増加しており、全体的に勉強時間が増えている。

●学習理解度

・習熟度別少人数授業の児童生徒アンケートで「授業が分かる」とする旨の回答の割合（同じ母集団での比較）が、実施前の回答以上。

小学生 89%（実施前 85%）→ 89%（実施前 83%）

中学生 79%（実施前 75%）→ 81%（実施前 78%）

※R1 及び R2「習熟度別少人数授業の児童生徒アンケート」結果より

➢ 小学生、中学生ともに習熟度別少人数授業実施後の数値は前年度と比較し、ほぼ横ばいとなっている。また小・中学生とも、実施前より実施後の授業の理解度が上回っている。

(2) 重点事業実施状況

No.1 就学前教育カリキュラムの普及・啓発